

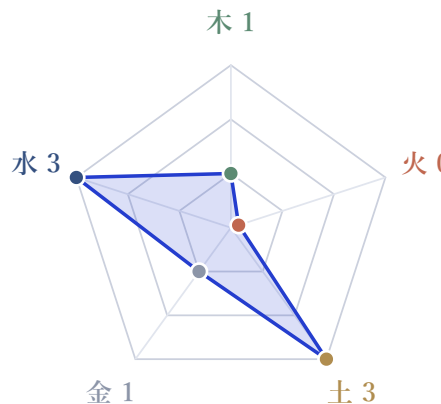
## 鑑定対象：見本 様

1982年12月22日 13:30生まれ（日本標準時） / 大運：女命で計算（逆行・5歳運）

## あなたの命式

|         | 年柱 | 月柱 | 日柱 | 時柱 |
|---------|----|----|----|----|
| 天干      | 壬  | 壬  | 己  | 辛  |
| 通変星     | 正財 | 正財 | 日主 | 食神 |
| 地支      | 戌  | 子  | 卯  | 未  |
| 蔵干      | 戊  | 癸  | 乙  | 己  |
| 通変星（蔵干） | 劫財 | 偏財 | 偏官 | 比肩 |
| 十二運     | 養  | 絶  | 病  | 冠帯 |

## 五行バランス



日主（あなた自身をあらわす日干）：己（陰の土） 空亡：申酉

多い五行：土・水（3） / 少ない五行：火（0）

## 目次

- 第1章 あなたの本質と四つの柱
- 第2章 十年ごとの流れ（大運）
- 第3章 今年の12か月
- 第4章 6つのテーマと、日常を整えるアクション

## 第1章

## あなたの本質と四つの柱

## 冬の畑を潤す、静かな土のひと

あなたの日主は己、陰の土です。畑や花壇の土のように、何かを育てるための柔らかな地面をあらわします。派手さよりも、受けとめる力と、じっくり形にする力が持ち味です。

生まれた月は子月、冬の盛りです。水が豊かに満ちる季節に、土は静かに水を含み、春の芽吹きに備えます。命式には水が三つあり、財をあらわす星として天干に並びます。価値あるものを見つけ、扱う感覚が、生まれつき備わっていると読めます。

日柱の十二運は病です。勢いで押し切るよりも、感受性を働かせて細やかに整えるほうが、あなたらしさが出ます。人の小さな変化に気づき、必要な手当てを思いつく。そうした繊細さが、あなたの創造性の源です。

五行は木が一つ、火がゼロ、土が三つ、金が一つ、水が三つ。水が多く、土がそれを受けとめる形です。心が整いやすいのは、温度と光がある場所です。冷えた土は固まりますが、日が差せば育てる力を取り戻します。静かに考える時間と、心を温める習慣。この二つが揃うとき、あなたの内側はもっとも豊かに働きます。

## 四つの柱を読む

### 年柱 壬戌

社会での顔と、育ってきた土台

年柱は壬戌、天干は正財、十二運は養です。外の世界では、誠実に地に足のついた人として映りやすいでしょう。約束を守り、少しずつ信用を積む姿勢が、あなたの社会的な土台です。養は育てられる段階をあらわします。周囲から手をかけられ、価値観を受け取ってきた歩みが、今の堅実さを支えています。

### 月柱 壬子

仕事と役割、暮らしの持ち味

月柱は壬子、天干は正財、地支の蔵干は癸で偏財です。仕事の間では、数字や資源、価値の流れを見る目が働きます。正財の堅実さと偏財の柔軟さが同居し、守ることと動かすことの両方を扱えます。十二運は絶で、いったん形を手放す性質です。前例に縛られず、白紙から組み直せることが持ち味になります。

### 日柱 己卯

素の自分と、近しい人との関わり

日柱は己卯、地支の蔵干は乙で偏官、十二運は病です。素のあなたは、穏やかな土の下に、筋を通したい芯を持っています。卯の木は土を耕す働きをし、ほどよい緊張が自分を引き締めます。近しい人には、面倒見のよさと繊細な気配りで接するでしょう。無理を重ねる前に、休む時間を自分に許してみてください。

### 時柱 辛未

内面の願いと、これからの可能性

時柱は辛未、天干は食神、地支の蔵干は己で比肩、十二運は冠帯です。内側には、自分の感じたことを形にして差し出したいという願いがあります。辛は磨かれた金属のように、細部を整える感性をあらわします。冠帯は装いを整え、世に出る段階です。手を動かして表現する場を持つほど、これからの可能性が育っていきます。

## 五行の整え方

五行は水と土に厚く、火がありません。水は財と思考、土は自分自身です。考えを深め、蓄える力は十分に備わっています。一方で火は温めと発信、そして安心感をつかさどります。少し補うと、内に溜めたものが外へ流れ出しやすくなります。

暮らしでは、赤や橙、暖かな灯りの色を小物に取り入れてみてください。時間帯は正午前後、光の強い時間に大切な作業を置くと進みます。季節なら夏、場所なら南向きの窓辺や、火を扱う台所が力を与えます。習慣としては、温かい飲み物を一杯、誰かと話す時間を一つ。小さな熱が、冬の土をやわらかくします。

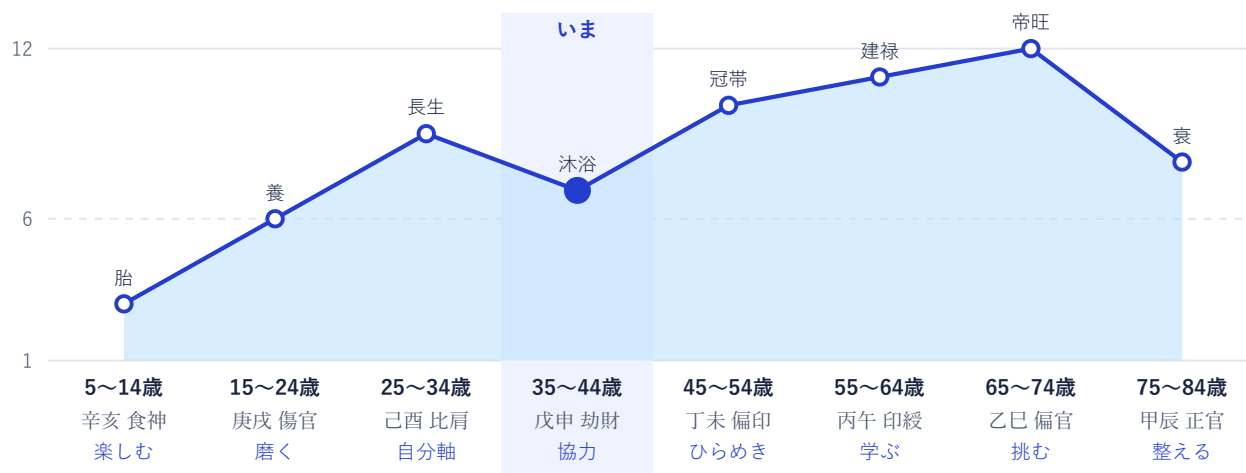
## 十年ごとの流れ（大運）

立運 5歳

逆行

現在 43歳

### 大運のエネルギー



縦軸は日干から見た各大運の十二運のエネルギー（帝旺12～絶1）。下段は大運の干支・通変星とテーマ。

大運とは、十年ごとに移り変わる人生の気候のようなものです。あなたの大運は五歳から始まり、逆行して進みます。

幼少期は食神と傷官、感性と表現を育てる季節です。二十代からは比肩、劫財と自分の足場を固める流れへ移ります。

四十代半ばからは偏印、印綬と学びと内省の星が続き、エネルギーも静かに高まります。六十代以降は偏官、正官へと移り、蓄えた力を人や社会へ手渡す流れです。

全体として、感じる力を育て、自立を確かめ、最後に整えて渡す。そんな長い上り坂を描く命式です。

### いまの大運

いまは三十五歳から四十四歳、戊申の大運です。通変星は劫財、自分と同じ性質を持つもう一人の自分のような星です。十二運は沐浴、産湯につかるように、新しい自分に洗い替わる時期を示します。

この十年は、他者と並び立つ中で自分の輪郭を確かめる季節です。人との比較や、任される役割の増減に、心が揺れやすいかもしれません。その揺れは弱さではなく、次の形に整えられている途中の音です。

お金との付き合いでも、外の数字より自分の基準を持つことが鍵になります。何に使うと心が満ちるのか、書き出してみてもいいかもしれません。

エネルギーは中庸です。手を広げるより、続けられる仕組みを一つ選んで磨くと、流れに乗りやすい時期です。

## 次の大運へ

四十五歳から五十四歳は丁未、偏印と冠帯の十年です。偏印は独自の視点で学びを深める星、冠帯は装いを整えて世に立つ十二運です。

身につけた経験が知識として結び直され、あなたらしい専門性として形を得やすくなります。人に教える、まとめる、仕組みにする。そんな役割とも縁が深まります。

いまから準備できるのは、記録です。学んだこと、うまくいった判断、家計や仕事の工夫を書き留めておく。その蓄積が次の十年の土台になります。

## 8つの大運

| 年齢           | 大運 | 星        | ひとこと                                                          |
|--------------|----|----------|---------------------------------------------------------------|
| 5～14歳        | 辛亥 | 食神<br>胎  | 五歳から十四歳、辛亥。食神と胎の時期です。まだ形にならない感性が静かに芽を宿し、好きなものに触れる時間が土台になります。  |
| 15～24歳       | 庚戌 | 傷官<br>養  | 十五歳から二十四歳、庚戌。傷官と養の時期です。鋭い感受性が育ち、うまく言えない思いを言葉や表現に変える練習を重ねます。   |
| 25～34歳       | 己酉 | 比肩<br>長生 | 二十五歳から三十四歳、己酉。比肩と長生の時期です。自分の足で立つ意識が芽生え、仕事や暮らしの基礎を一つずつ積み上げます。  |
| 35～44歳<br>いま | 戊申 | 劫財<br>沐浴 | 三十五歳から四十四歳、戊申。劫財と沐浴の時期です。人と関わる中で価値観が洗い直され、自分の基準を作り替える節目となります。 |
| 45～54歳       | 丁未 | 偏印<br>冠帯 | 四十五歳から五十四歳、丁未。偏印と冠帯の時期です。学びが専門性として形を持ち、人前で役割を担う機会が増えやすくなります。  |
| 55～64歳       | 丙午 | 印綬<br>建禄 | 五十五歳から六十四歳、丙午。印綬と建禄の時期です。知性と信頼が実を結び、安定した立場から人を支える働きが自然になります。  |
| 65～74歳       | 乙巳 | 偏官<br>帝旺 | 六十五歳から七十四歳、乙巳。偏官と帝旺の時期です。エネルギーが満ち、責任ある挑戦や、後進へ道を示す役割と縁が深まります。  |

**75～84歳 甲辰 正官** 七十五歳から八十四歳、甲辰。正官と衰の時期です。整えることが主題になり、築いたものを静かに手渡す、成熟した時間が流れます。

衰

### 第3章

## 今年の12か月

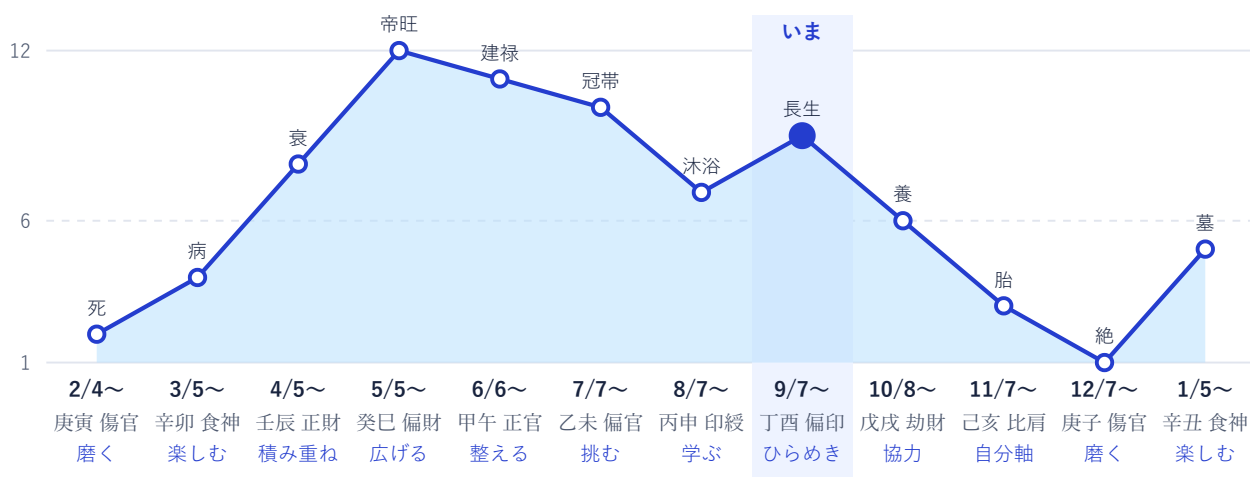
2026年運 丙午

通変星 印綬（学ぶ）

十二運 建禄

立春 2026/2/4 ～

### 今年の月別エネルギー



縦軸は日干から見た各月の十二運のエネルギー（帝旺12～絶1）。月は節入り日で区切っています。下段は月の干支・通変星とテーマ。

## 学びの火が土を温める一年

二千二十六年の年運は丙午、通変星は印綬です。印綬は、学びと受け取る力を示す星です。十二運は建禄、エネルギーは十一と高い位置にあります。あなたの命式は水と土が中心で、火が最も少ない配置です。その火が年運として巡り、土である日主を温めてくれます。乾いた知識ではなく、体温のある学びが入ってくる一年です。焦って動くよりも、知りたいことを掘り下げる姿勢が力になります。お金との向き合い方も、数字を追う前に仕組みを学ぶ順序が合っています。土台を温め直す年として過ごすと、流れに乗りやすくなります。

## 12か月の過ごし方

### 2/4～ 庚寅

傷官・死（磨く）

二月からの庚寅は傷官、十二運は死です。エネルギーは静かで、外に出すより内で練る時期でした。言葉が鋭くなりやすい月でもあります。この時期に感じた違和感、あなたの基準を教えてくれる資料です。書き留めたものを今の判断材料として活かしてみたいかがでしょう。

### 3/5～ 辛卯

食神・病（楽しむ）

三月からの辛卯は食神、十二運は病です。楽しむことで才能がひらく星が、ゆるやかに芽を出す配置でした。無理のない範囲で好きなことに触れた記憶があるかもしれません。その心地よさの理由を言葉にしておくと、お金の使い道を選ぶときの静かな指針になります。

### 4/5～ 壬辰

正財・衰（積み重ね）

四月からの壬辰は正財、十二運は衰です。正財は、こつこつ積む堅実な実りの星です。エネルギーは落ち着き、地道な作業が向く月でした。家計や契約を見直す機会があったなら、それは今年の土台づくりでした。当時の記録を、あらためて見返してみたいかがでしょう。

### 5/5～ 癸巳

偏財・帝旺（広げる）

五月からの癸巳は偏財、十二運は帝旺です。エネルギーが最も高まり、人や機会が広がりやすい月でした。動きが多かった分、使ったものも多かったかもしれません。何に心が動いたのかを振り返ると、あなたにとっての価値の基準がはっきりしてきます。

### 6/6～ 甲午

正官・建禄（整える）

六月からの甲午は正官、十二運は建禄です。正官は、秩序と責任を示す星です。役割が明確になり、求められることが増えた時期でした。そこで守ったルールや締切は、あなたの信用の積み重ねです。今も続けている習慣を、静かに確認してみたいかがでしょう。

### 7/7～ 乙未

偏官・冠帯（挑む）

七月からの乙未は偏官、十二運は冠帯です。偏官は、瞬発力と決断を促す星です。勢いのある判断をした場面があったかもしれません。その決断の速さは資質です。次に大きく動くときのために、判断の手順をひとつ書き出しておく役立ちます。

### 8/7～ 丙申

印綬・沐浴（学ぶ）

八月からの丙申は印綬、十二運は沐浴です。年運と同じ学びの星が重なり、興味の対象が移り変わりやすい月でした。散らばった関心も、無駄にはなりません。触れた題材の中から、続けたいものをひとつだけ選び直してみたいかがでしょう。

### 9/7～ 丁酉

偏印・長生（ひらめき）／いま

九月からの丁酉は偏印、十二運は長生です。偏印は、独自の視点で吸収する星です。長生は始まりの気配を示します。今は学び直しに最も適した位置にあります。お金の仕組みについて、入門の一冊や講座など、小さく確かな学びを始めるのに向く時期です。

### 10/8～ 戊戌

劫財・養（協力）

十月からの戊戌は劫財、十二運は養です。劫財は、仲間や協力関係に関わる星です。エネルギーは中庸で、人と分け合う場面が増えやすい月です。誰かに頼る、誰かを支える。その往復の中で、自分の取り分の線引きを穏やかに確かめてみてはいかがでしょう。

### 11/7～ 己亥

比肩・胎（自分軸）

十一月からの己亥は比肩、十二運は胎です。比肩は、自分の軸を確かめる星です。胎は内側で形が育つ段階を示します。人と比べる気持ちが出たら、自分の物差しに戻る合図です。今年学んだことを、自分の言葉で要約してみると軸が定まります。

### 12/7～ 庚子

傷官・絶（磨く）

十二月からの庚子は傷官、十二運は絶です。エネルギーは最も静かになります。これは止まり木で翼を休める時間です。予定を減らし、睡眠と食事を整えることを優先してみてはいかがでしょう。表現したい思いは、この静けさの中で熟していきます。

### 1/5～ 辛丑

食神・墓（楽しむ）

一月からの辛丑は食神、十二運は墓です。食神が落ち着いた場所に収まり、一年の成果を静かに納める月です。派手な動きは向きません。今年の学びを記録にまとめ、来年に持ち越すものを選んでみてはいかがでしょう。穏やかな締めくくりが次への助走になります。

## 来年（2027年 丁未・偏印）の予告

二千二十七年の年運は丁未、通変星は偏印です。十二運は冠帯、エネルギーは十と高い位置にあります。偏印は、独自の切り口で深く掘り下げる星です。今年の印綬が広く受け取る学びだとすれば、来年は専門を選び、形にしていく段階にあたります。そのために、今年のうちに興味の範囲を絞っておくと動きやすくなります。学んだ内容を記録に残し、続けたい一つを決めておく。そんな小さな準備が、来年の追い風になります。

## 第4章

# 6つのテーマと、日常を整えるアクション

## いま向き合いたいこと：お金との付き合い方

お金というテーマは、あなたの命式の中心にあります。年干と月干に正財が二つ並び、月支の蔵干には偏財。水の五行が三つと多く、財を表す星がはっきりと立っています。数字や価値を見抜く感覚は、生まれつき備わっているとみてよいでしょう。

一方で、火の五行がゼロです。火はあなたの土を養う印の働き、つまり自分自身を満たす源にあたります。財が豊かなぶん、自分の内側を温める時間が後回しになりやすい配置です。

大きな目標を持つこと自体は、あなたの星にとっても合っています。ただ、金額を先に決めるより、何にどれだけ使いたいかを先に決めるほうが、財の星は動きやすくなります。

今年は丙午、印綬の年。火が巡り、学びと見直しに向く流れです。今週は紙を一枚用意して、毎月必ず出ていくお金を書き出してみてもいいでしょう。全体像が見えると、次の一手が驚くほど静かに決まります。

## 6つのテーマ

### キャリア・仕事

日主の己は陰の土。目立たぬところで人と物事を育てる質です。時柱の食神は、楽しみながら形にする才能を示します。数字の管理、育成、丁寧な積み上げが評価につながりやすい配置です。今年は印綬の年で、学び直しが仕事に効きます。資格や知識の整理に時間を割くと、流れに乗りやすくなります。

### 新しい挑戦・飛躍

現在の大運は戊申、劫財で沐浴。試しながら形を探る時期です。大きく賭けるより、小さく複数を試す挑戦が合います。年運の丙午は火を補い、意欲を後押しします。九月は偏印で長生、発想が広がる時。誰かの真似ではなく、自分が面白いと思える一点から始めてみてはいかがでしょうか。

### 人間関係

日支の卯に偏官があり、緊張感のある関係にも真正面から向き合える強さがあります。ただ、抱え込みやすさも同居します。年柱の戌に劫財があるので、対等に話せる仲間の存在が支えになります。判断に迷うときは、利害のない相手に一度話してみると、考えが整理されやすいでしょう。

### 心の休息

月支の子は冬の水、日柱の十二運は病。静けさを必要とする配置です。休むことは怠けではなく、あなたの土を保つ手入れにあたります。十一月は比肩で胎、十二月は傷官で絶。年末は活動量を落として構いません。予定を入れない日をあらかじめ一日確保しておく、心が守られます。

### 恋愛・パートナーシップ

正財が並ぶあなたは、関係にも誠実さと継続を求めます。約束を守る姿勢が、そのまま信頼になります。一方で火が少ないぶん、気持ちを言葉にする機会が減りがちです。好意や感謝は、小さくても口に出してみてください。来年は偏印の年。ゆっくり理解を深める関わりが合う流れです。

### お金との付き合い方

財星が多い命式は、入る道も出る道も広くなりやすい配置です。だからこそ、器を先に整えることが効きます。使う口座と貯める口座を分け、境界を目に見える形にしてみてください。四月から六月は正財と偏財が巡り、収支を見直すのに向く時期です。数字を眺める習慣が、そのまま安心につながります。

## 日常を整える開運のアクション

### ・ラッキーカラー



### 弁柄色

火の五行がない命式を、静かに温める色です。派手な赤ではなく、土に近い落ち着いた赤。手帳の表紙や器、マフラーなど、毎日手に触れるものに一点取り入れてみてください。

## ・ラッキーアイテム

### 無地の小さなノート

財の星が多いあなたには、数字と気持ちを書き出す場所が役立ちます。家計でも予定でもなく、感じたことを一行だけ。持ち歩いて、迷った日に開くと、判断の軸が戻ってきます。

## ・毎月の小さな習慣

1. 月の初めに、先月使ったお金を十分だけ眺めます。反省はせず、事実を確認するだけにとどめてください。
2. 一日一度、温かい飲み物をゆっくり飲む時間を持ちます。火を補い、心を落ち着かせる小さな習慣です。
3. 月に一度、使っていない物を三つ手放します。器が空くと、入ってくるものの輪郭がはっきりします。

## 心に留めておくべき言葉

「数えるほどに、暮らしは静かに整っていきます」

命式：節入りはNASA JPLの天体暦（DE440s）による太陽視黄経から算出。年は立春、月は節入り時刻で切り替え。日本標準時。

PAUSE TO CREATE. WINGS TO BEGIN.  
perch-creative.com/mind-uranai/